

新体操少年女子個人で、本県チームのトップバッターを務めた三上真穂＝千葉ポートアリーナ



大声援に緊張」（三上）美子監督（同）も「全員しながらも集中を保ち、自分の力を見極め、大ノーマス演技を披露。全きなミスなくまとめられ選手中最高得点をたたき出した。最初の三上が「ドン」と勢いよくやってくれた。終了後はチームと勢いよくやってくれた。終了後はチームと勢いよくやってくれた。終了後はチームと勢いよくやってくれた。」と評価した。

団体戦へ心は一つ

個人競技でチームの締めを飾った小林千真理（昭和学院高）は、リボンを投げ際の力加減に不安を感じていたが、「今日は落とさずできました」と勝負強さを見せた。「途中でボールを落としそうになったがすぐ立て直せし、全体ではよくできた」と、ほっとした表情を見せたのは、新体操少年女子個人でボールに臨んだ最年少の宮本枝実（流通経大柏）。

新体操少年女子個人で、4日の団体競技へ弾みをつけた。千葉県勢は、ロープ、フープ、ボール、リボンに地元開催のプレッシャ

メートらと肩をたたき合いい、「リラックスして演技できた」と晴れやかな

え、「明治た」と勝負強さを見せた。「途中でボールを落と

1番手三上がけん引

少年女子個人

維新同様、国体に「新体操維新」

挑んだ4人全員が各競技で最高得点をマーク

を巻き起こしたい」（塩屋監督）と、NHK大河ドラマ「龍馬伝」のテーマソングで挑む。2位岐阜県とは1・8313差

する文句なしの成績で22チームのトップに立ち、最終順位が決定するきよ

プバッターを務めたのは三上真穂（昭和学院高）。柔軟な動作でリズムカルにロープを操るたびに、会場からは割れんばかりの歓声が響いた。

だ江田友莉亜（同）は「い

た表情を見せたのは、新

「経験したことのないらに深めた様子。塩屋恵時代の築けるか。

練習を通じ、悩みや目標を共有してきた。学年



新体操

「経験したことのない

らに深めた様子。塩屋恵

時代の築けるか。

練習を通じ、悩みや目標を共有してきた。学年